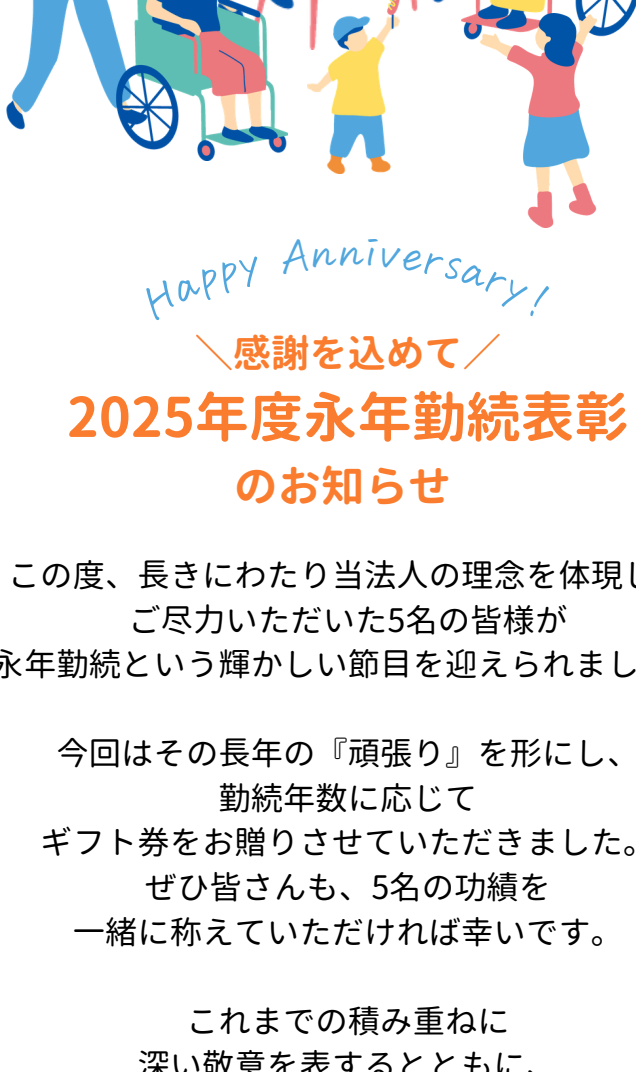


従業員のみなさんへのお知らせ

4月



Happy Anniversary!

感謝を込めて

2025年度永年勤続表彰のお知らせ

この度、長きにわたり当法人の理念を体現し、ご尽力いただいた5名の皆様が永年勤続という輝かしい節目を迎えられました。

今回はその長年の『頑張り』を形にし、勤続年数に応じてギフト券をお贈りさせていただきました。ぜひ皆さんも、5名の功績と一緒に称えていただければ幸いです。

これまでの積み重ねに深い敬意を表するとともに、今後ますますのご活躍を職員一同、心より願っております。

5年

Sさん

Sさんからのコメント

これから入ってくる方達の見本になれるよう、これからも頑張っていきたいです。

10年

福田翔映さん

福田さんからのコメント

勤続20年の表彰を目標にまた10年頑張ろうと思います!



勤続10年を迎えられた方がもう1名いらっしゃいますが、ご本人のお申し出により、お名前とお写真の掲載は控えさせていただきます、コメントのみご紹介させていただきます。

いただきましたコメント

勤続10年を迎えることができました。関わった皆さんに感謝を伝えたいです。これからもよろしくお願いします。

20年

喜多寛さん

喜多さんからのコメント

わたしが20年も続けてこれたのは川元さんをはじめ、歴代の代表の方々、コーディネーターや職員のみなさん、同じ介助者のみなさん、そして利用者さんのおかげです。ありがとうございます。至らぬ点多々ありますがこれからもよろしくお願いいたします。

なお、勤続20年を迎えられた方がもう1名いらっしゃいますが、ご本人のお申し出により、お知らせでの掲載は控えさせていただきます。

いつもいつもありがとう!!!

OBC奉行クラウドでの氏名、住所、連絡先、家族等の変更手続きについて

事務より

氏名、住所、連絡先（メールアドレス、電話番号）、家族、扶養者等の変更がある場合はweb照会から変更をお願いいたします。



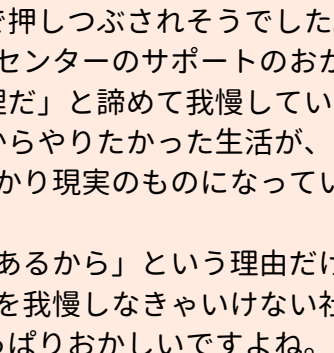
住所に変更がある場合

- web照会から住所を変更してください。
- 住宅手当の対象になる方は、契約書（契約者と月額がわかるページ）の画像もweb照会からご提出ください。
- 転居日から2週間以内に、新住所の住民票（原本）を、事務所の下記担当宛にご郵送ください。



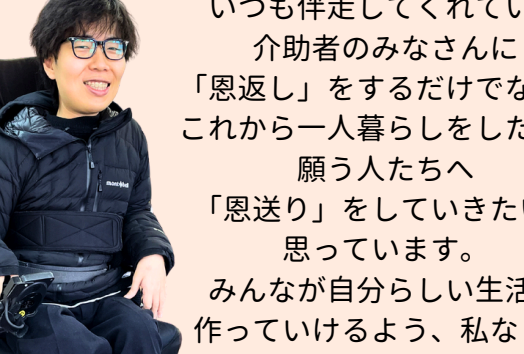
氏名に変更がある場合

- web照会から氏名を変更してください。
- 変更日から2週間以内に、世帯全員が載った住民票（原本）と戸籍謄本を、事務所の下記担当宛にご郵送ください。



家族・扶養者が増えた時

- web照会から扶養者の情報を追記してください。
- マイナンバーを入力し、マイナンバーが分かるようにマイナンバーカード等の画像もweb照会からご提出ください。
- 変更日から2週間以内に、世帯全員が載った住民票（原本）、新しい家族（18歳以上）を扶養する場合は、対象者の課税（非課税）証明書も、事務所の下記担当宛てにご郵送ください。



事務より

4月労働分の出勤簿・交通費申請書

一般ヘルパー・ケアスタッフの方

- 提出期限：2026年5月5日(火)まで
- スマートフォン・エクセルフォーマットでの提出先アドレス：
shukkinbo@w-tokyo.com
- 提出が遅れる場合は五十嵐まで

介助職員の方

- 提出期限：2026年5月2日(土)まで
- スマートフォン・エクセルフォーマットでの提出先アドレス：
wtokyo.shukkinbo@gmail.com
- 提出が遅れる場合は吉川まで

従業員共通

- FAXでの提出先…042-467-8106
- 出勤簿が届いたかどうかの確認は…
- ★郵送、事務所前郵便受けに提出の方のみ★
wtokyo8102@gmail.comまでメールにてご連絡下さい。

長田のひとこと

みなさん、こんにちは。このたび、自立生活センター・小平の事務局長に就任しました、長田直也です。

思い返せば、私が初めて当センターの扉を叩いたのは2017年のことでした。翌2018年にILP（自立生活プログラム）を受けて、ずっと夢だった一人暮らしをスタート。そんな中で「支援する側もやってみない？」と声をかけてもらい、2019年4月にスタッフの仲間入りをしました。

実は、一人暮らしを始める前は、進行していく自分の障害のことや、親が高齢になっていくことに対して、不安で押しつぶされそうでした。でも、このセンターのサポートのおかげで、それまで「無理だ」と諦めて我慢していたことや、心からやりたかった生活が、今ではすっかり現実のものになっています。

「障害があるから」という理由だけで、自分の人生を我慢しなきゃいけない社会は、やっぱりおかしいですよね。どんなに重い障害があっても、自分の暮らしを自分自身で決めていける、そんな社会であってほしいと強く願っています。

そして、私がこうして自分らしい生活を送り、事務局長というバトンを受け取ることができたのも、日夜私たちの生活を一番近くで支えてくれている介助者のみなさんのおかげです。センターの活動も、私たち当事者の当たり前前の日常も、みなさんのサポートなしには成り立ちません。

いつも本当にありがとうございます。

世の中には、まだ自分が望む生活を実現できていない障害当事者の方がたくさんいます。

これからは事務局長として、これまで私を直接サポートしてくれた方々や、いつも伴走してくれている介助者のみなさんに「恩返し」をするだけでなく、これから一人暮らしをしたいと願う人たちへ「恩送り」をしていきたいと思っています。

みんなが自分らしい生活を作っていけるよう、私なりに全力で走っていきます。

これからも、一人ひとりが自分らしく生きられる社会を、みなさんと一緒に作っていけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします!

